

SBDL Winter Round 2023 入替戦

2023 第5回 前期埼玉県バスケットボール デベロップメントリーグ U14ウインターラウンド入替戦 実施要項

- 1 大会名称 大会呼称 ▶ SBDL ウインターラウンド2023入替戦
 (英語表記：SBDL Winter Round 2022)
 正式名称 ▶ 2023 第5回 前期埼玉県バスケットボールデベロップメントリーグ
 U14ウインターラウンド入替戦
 (英語表記：SBDL U14 Winter Round)
- 2 主催 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会
- 3 主管 一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 U15 カテゴリー部会
- 4 目的
 - (1) JBA登録チームに、一定の公式戦試合数を確保し長期的な育成を図る
 - (2) 拮抗した対戦を増やし、選手・指導者の成長を促す
 - (3) DNP (Do Not Player：補欠選手) ゼロを目指し、すべての選手がバスケットボールの公式戦を楽しめる環境の構築
- 5 協賛 シューティングスターズ、Nスクリーン、グリーンフロッグ、ミカサ、モルテン、
- 6 期日 3月26日(日)
- 7 開催会場 女子：武蔵野短期大学体育館 男子：毛呂山総合体育館
- 8 大会方式
 - (1) U14リーグ終了後各リーグから条件に満たしたチームが参加
- 9 表彰 なし
- 10 登録規定
 - (1) 2022年度において、都道府県バスケットボール協会を経て、公益財団法人日本バスケットボール協会U15カテゴリーに登録されたチームおよび競技者であること
 - (2) 選手・コーチはスポーツ安全保険に加入しなければならない
 (スポーツ安全保険の加入を証明できる資料をリーグ戦運営委員に提出)
- 11 選手参加資格
 - (1) 選手の年齢は、**2008年(平成20年)4月2日から2012年(平成24年)4月1日までに生まれた者**
 - (2) **選手は、2023年1月6日までにJBAに登録(移籍・追加登録含む)されていること**
 - (3) 移籍については、所属都道府県協会へ移籍申請書を提出し、受理されていること
 - (4) U15クラブチーム登録した11歳以上の選手は、U15リーグに出場することができる(U12全国大会および予選大会には出場できない)
 - (5) 2010年(平成22年)4月2日から2012年(平成24年)4月1日に生まれた者を選手として大会エントリーする場合は、1チームあたり2名まで
 - (6) 外国籍選手(JBA基本規程に基づく)の大会エントリーは1チームあたり2名まで
 - (7) 就学しているが年齢が上の者の場合(中学3年生だが16歳などの場合)は、本リーグ戦に参加することができる

※2023U14リーグに出場した選手のみが出場することができる。

12 指導者参加資格

- (1) コーチライセンス
 - A ベンチで指揮を執るコーチはJBA公認E級コーチ以上を保有していること
 - B ベンチで指揮を執るコーチは、試合前、テーブルオフィシャルズにてスコアシートにサインする際、必ずJBA公認コーチ登録証を提示すること
 - C **試合中はJBA公認コーチ登録証を首から下げる**こと
- (2) 遵守事項
 - A **暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守**する
 - B 行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受領等が含まれる
 - C 特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応できないことがあること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。
- (3) チーム責任者
 - A 年齢が2022年4月1日時点で20歳以上の者で、チームを代表して対外的な窓口となり、参加にかかる手続き等ができること
 - B チームに帯同し、チームの最終責任者として活動できる者であること

13 大会エントリー資格

- (1) JBA に加盟しているチームおよび登録された競技者であること
- (2) 参加チームの所属選手でありJBA 発行の競技者登録証を所持していること
- (3) 選手以外のエントリーは、スタッフ4名以内（コーチ、アシスタントコーチ、チーム責任者、マネージャー等）とする
- (4) チームが選手の安全管理上の理由でトレーナーのフロアでの活動を希望する場合、所定の「トレーナー登録申請書」を第1節に大会運営委員に提出する
- (5) インテグリティを遵守し、エントリー条件を満たしているチームが参加資格を有する
- (6) **会場、審判、コーチライセンスなどを準備できないチームは参加資格を失う**
※ 今大会においても帯同審判で実施します。(C級ライセンス以上)
必ず各チームご準備ください。

14 施設入場者制限について

- (1) 観客の入場については、施設管理者の基準に最優先に従うものとする
- (2) 施設管理者が入場を認めている場合
 - A 入場者は、必ずチームで管理し、施設来場者名簿に記載されたもののみとする
 - B 基本的には、選手とその家族、下級生などチーム関係者を入場の対象とし、各チーム50名程度とするが、入場人数の最大数は施設基準を最優先として考える
- (3) 施設管理者が観客の入場を認めていない場合
 - A 無観客試合の際は、運営上必要な人員として各チームサポートスタッフ最大3名の入場を認める
 - B サポートスタッフは、選手やベンチスタッフと同様に「施設来場者健康状態記録表」に氏名等の項目を記載し、会場責任者が明確に把握する
 - C **【サポートスタッフの役割】**
 - ・選手に健康上のトラブル等があった場合の対応ができる大人とする
 - ・写真/動画の撮影を行うこともできるが、SNS等への投稿は不可
 - ・ベンチエリアでの指示、指導を行うことはできない

15 提出物

- (1) 以下の3点事務局に提出する。
 - A 「Team JBA 登録一覧表名簿」
 - B 「スポーツ安全保険団体員名簿」
 - C 「施設来場者健康状態記録表」（当日の体温記載）
 ※ 施設毎の様式がある場合には、所定の書式で提出（返却がない場合もある）

16 日程調整について

(1) 没収

- A 急な体調不良・災害・事故など正当な理由なく、予定されたゲームに現れなかったり、ゲーム終了前にコートから立ち去ったりしたチームは没収による負けとなる。
- B その他、競技規則に則る

17 リーグ戦成績の影響について

(1) Rリーグの成績

- A 表彰をもって完結し、その後の競技会に直接的に影響を与えることはない
- B ただし、チームが上位リーグへの所属を希望した場合、当該チームの成績は、編成の参考資料とする

(2) Pリーグの成績

- A 2022 U15Autumn round (2022年9月開催)の成績は、2023 U14Winter round (2023年1月開催)所属リーグ編成の参考資料となる
- B 2023 U14Winter round (2023年1月開催)の成績は、2023 U15Autumn round (2023年9月開催)所属リーグ編成の参考資料となる
- C 昇格・降格については、「21リーグ編成について」に記載の通り、成績は第5段階目の参考資料であることを前提とし、以下の通り確認する
 - a) 成績以前に降格の対象となる事案がある場合これを優先するため、昇格および降格については全てのチームが対象となる
 - b) 競技成績以外にリーグ編成にあたって参考資料がない場合、以下の通りとする
 - 1部の下位2チームは降格の対象となる
 - 2部の上位1チームは昇格の対象となる
 - 2部の下位2チームは降格の対象となる
 - 3部の上位1チームは昇格の対象となる
- D **所属リーグ編成は、「21所属リーグ編成について(1)」のとおり、全チームがリーグ戦エントリー終了後、U15カテゴリー部会によって決定される。**よって、リーグ戦終了(順位決定)後に自動的にリーグ編成が決まることはない
- E **U14Winter roundからU15Autumn roundの間は、入れ替え戦を実施する**
 - a) 以下、**α・βおよびW・X・Y・ZはU15部会責任抽選で決定する。**
 - 2部A1位チームvs1部下位チーム「α」
 - 2部B1位チームvs1部下位チーム「β」
 - 3部A1位チームvs2部A下位チーム「W」
 - 3部B1位チームvs2部A下位チーム「X」
 - 3部C1位チームvs2部B下位チーム「Y」
 - 3部D1位チームvs2部B下位チーム「Z」

F 組み合わせ

(第1試合チームが会場準備をする。最終試合のチームが撤収。試合間10分。開場時間8:30)

	対戦	審判	TO
第1試合 (9:30)	2部A1位-1部下位α	3部A1位-2部下位W	第2試合の淡色チームが担当
第2試合 (10:50)	2部B1位-1部下位β	2部A1位-1部下位α	第1試合の勝ちチームが担当
第3試合 (12:10)	3部A1位-2部下位W	2部B1位-1部下位β	第2試合の濃色チームが担当
第4試合 (13:30)	3部B1位-2部下位X	3部C1位-2部下位Y	第3試合の勝ちチームが担当
第5試合 (14:50)	3部C1位-2部下位Y	3部B1位-2部下位X	第4試合の勝ちチームが担当
第6試合 (16:10)	3部D1位-2部下位Z	本年度は、チーム数の関係で実施しない。	

帯同レフリーを各チーム準備をすること (C級ライセンス以上)

- G U15Autumn round~U14Winter roundの間は入替戦を実施せず、Cの通り編成を行う

18 競技規則等

- (1) (公財)日本バスケットボール協会競技規則に準ずる。
 - A JBAが提唱するマンツーマンディフェンスの基準規則に準ずる。
 - B 第1試合のTOは、原則第3試合のチームが行う。トーナメント表の若い番号のチームがTOを、後のチームが得点・モップ担当をする。
- (2) 全ての試合でマンツーマンコミッショナーを配置する
 - A 帯同審判同様に各チーム1名担当者を用意する(20歳以上の大人であること)
 - B 各チームは、チーム内にマンツーマンディフェンス関連資料を配布し、皆で理解を深めておくこと。「マンツーマンディフェンスの基準規則」「マンツーマン推進リーフレット」「なぜマンツーマンが必要か?」第3版」「マンツーマンコミッショナーチェック表/報告書」http://www.japanbasketball.jp/players_developmentより

19 ベンチ ベンチは番号の若いチームがTO席に向かって右側とする。

20 ユニフォーム

- (1) ユニフォームは、2020年4月1日時点の公益財団法人日本バスケットボール協会ユニフォーム規則による。
- (2) スポンサー名を入れる場合は、名称や図柄等について未成年が着用するにふさわしいものとし、その可否は事前にSBA U 15カテゴリー部会へ提出し、許可を得ること。
- (3) なお、Bユース所属のチームについてはB.LEAGUEのユニフォーム要項に準ずる。
- (4) 各チームは濃色・淡色の各ユニフォームを用意し、濃淡同番号とする。
- (5) その他、身につけるものは競技規則に準ずる。
- (6) 原則として組合せ番号が若いチームを淡色(白色)とするが、2回戦以降については、対戦する両チームの話し合いの上、変更しても良い。その際、両チーム淡色は不可とし、濃色の際は同系色以外の着用を認めるものとし、試合日前日までにU 15カテゴリー部会に申し出て許可を得ることとする。
- (7) 外国籍選手(JBA基本規程に基づく)の出場はコート上5名のうち1名以内とする。

21 試合の進行について

- (1) 試合ごとに人の入れ替えを行う
- (2) ハーフタイムは、試合をしている当該チームがコートを使用する
- (3) 前のチームが消毒作業の後、退場完了後、次のチームが入場する
- (4) スコアシートは試合開始15分前までに記入をする(ベンチメンバー最終登録)
- (5) 試合は以下の項目に留意し、進行をする
 - A チームの共有物は使用しない 例) ボトル、ジャグ、ベンチタオル
 - B ベンチでは、熱中症に十分注意し、できる限りマスクを着用する
 - C 各自、座る場所を固定し、自分の場所以外に座らない
 - D ベンチでの応援は、拍手を主とし、大きな声は極力控える
 - E コーチは、マスクを着用する
 - F ピリオド間のベンチでは広く間隔をとり、密を避ける
 - G TO、モップ係、得点板メンバー以外は試合終了後すぐに体育館から退出する
 - H 試合終了後、試合をしたチームは各チームで用意したアルコール(70%以上のもの)を使用して消毒作業をして、速やかに会場を出る
 - I その後、手洗い・消毒を必ず実施する

22 感染症対策

- (1) JBA各種ガイドラインに則り、大会を運営する
- (2) チーム責任者は、以下のURLから「JBAバスケットボール活動再開に向けたガイドライン」をダウンロードし、選手並びにチーム関係者に配布するとともに、感染症対策について対応を徹底する。
 - A 【「JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン 第5版」概要】
(http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf)
- (3) チーム責任者は、リーグ戦期間中の【SBA U15健康チェックシート】をチーム内で保管する
 - A 後日、**陽性者が発生し会場から提出が求められる場合は、必ず提出できるように準備**する
 - a) 【SBA U15健康チェックシート】は選手および関係スタッフ全員分準備しておく
 - B 一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会ホームページからダウンロード
(<http://saitama.japanbasketball.jp/>)

23 その他

- (1) 個人情報の取り扱いについて
 - A 大会関係者の健康状態の把握来場可否及び必要な連絡のためにのみ利用する
 - B 個人情報保護法の法令において認められる場合を除き、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはない。提出書類に記載されたデータ（画像データ含む）は、主催者が大会運営のため大会プログラムや大会公式サイトなどに使用するほか、大会報道を目的として報道機関に提供することがある
 - C その他、個人情報および肖像権の取り扱いについては別途定める
- (2) フロアレベルにおいての観戦について
 - A いかなる理由があっても、**フロアレベルで三脚を使用した撮影は認めない**
 - B いかなる理由があっても、**フロアレベルに未就学児の入場は認めない**
- (3) カメラ・ビデオでの撮影について
 - A 会場責任者から許可された場所からのみ、カメラ・ビデオでの撮影は可
 - B 撮影したい方は、原則、2階席またはギャラリーで撮影してください
 - C 2階席またはギャラリーが無い会場においては、会場責任者に相談し、安全上問題ないことを条件に許可を得た場合にのみフロアレベルでの撮影可（ただし、安全管理上の理由から三脚の使用は認めない）
 - D **いかなる理由があってもフラッシュの利用は認めない**
- (4) 保険加入
 - A 大会会場への往復移動中ならびに大会期間中に大会会場での負傷に備え、必ず保険へ加入すること（保険に加入していないコーチ・選手は大会に参加できない）
 - B 各チームで加入手続きと確認をしておくこと
- (5) 会場内は、互いに譲り合うとともに荷物の管理をする
- (6) ゴミは、各自・各チームで必ず持ち帰る
- (7) 新型コロナウイルス感染症等によって、レギュレーション、開催期間、順位その他に関して埼玉県バスケットボール協会の判断において変更されることがある